

# シラバス

日本病院会指定教育科目準拠



学校法人伊藤学園  
専門学校甲府医療秘書学院

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
医療秘書専門	医療保険事務	演習	前期	齊藤 俊光	30	専攻

目的およびねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に病院における複雑な診療報酬請求事務の技術を身につける。</li> <li>・診療報酬請求事務能力認定試験（医科）に合格する。</li> <li>・医療秘書検定準1級に合格する。</li> </ul>
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療報酬算定               <ul style="list-style-type: none"> <li>・診察料</li> <li>・医学管理等</li> <li>・在宅医療</li> <li>・投薬</li> <li>・注射</li> <li>・処置</li> <li>・リハビリテーション</li> <li>・検査</li> <li>・病理診断</li> <li>・手術</li> <li>・麻酔</li> <li>・画像診断</li> <li>・精神科専門療法</li> <li>・放射線治療</li> <li>・入院</li> <li>・公費、点検</li> </ul> </li> <li>2 診療報酬請求明細書               <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来カルテのレセプト作成</li> <li>・入院カルテのレセプト作成</li> </ul> </li> </ol>
教科書・参考書	診療点数早見表2019年4月増補版／医学通信社 医事関連法の完全知識2019年版／医学通信社 入門診療報酬の請求2018-19年版／医学通信社 医療事務診療報酬請求事務能力手認定試験(医科)合格テキスト&問題集／JMAM
評 価 方 法	筆記試験、実技試験、提出課題、出欠状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
備 考	

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	医療管理各論Ⅱ (医療保険・介護保険制度)	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	<p>わが国の医療制度は、ますます複雑なものとなってきている。大きな特徴の一つである、国民皆保険制度を維持していくには、国民総医療費の抑制も含めた医療制度改革が求められ、特に診療報酬制度については、DPC制度導入をはじめ、大きな変化が続いている。診療報酬は、診断名や診療行為等が規則に基づいて適正に記録され、管理されていることが前提であり、このため診療情報管理において、診療情報管理士に期待がかかる場所である。本科目では、まず、社会保険制度としての医療保険・介護保険を理解し、診療報酬制度および診療報酬請求業務までを学ぶ。これまでの出来高請求から、診断群（DPC）を活用した包括評価請求まで、診療報酬請求業務全般を知る。それを通して、診療情報管理の重要性への理解を深める。</p>
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療保険制度               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療保険の種類と保険給付・保険外給付</li> <li>② わが国の診療報酬制度</li> <li>③ 保険診療と医療費の支払いの仕組み</li> <li>④ 診療報酬の請求について</li> </ol> </li> <li>2 わが国の診断群分類               <ol style="list-style-type: none"> <li>① ケースミックス区分法と診断群分類</li> <li>② わが国の診断群分類誕生の背景</li> <li>③ DPC</li> <li>④ DPCと包括評価</li> </ol> </li> <li>3 介護保険制度の概要</li> </ol>
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	医療管理各論Ⅲ (医療安全・医療の質管理)	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	<p>質の高い安全な医療を提供するためには、医療安全管理と医療の質管理は、極めて重要である。</p> <p>医療事故を未然に防止すること、事故後の適切な対応が医療安全活動の本質といわれ、2015年に始まった医療事故調査制度は医療の安全を確保するために医療事故の原因究明と再発防止を行うことを目的としている。医療の質管理も医療安全と密接に関連し、診療情報管理士は、それらの本質を理解することが求められ、期待される役割は、年々大きくなっている。</p> <p>さらには、DPC/PDPSやNDBなど診療報酬請求制度におけるデータ活用は、医療の質や経営の質のみならず病院の将来を決定する計画策定のための重要指標となる。</p> <p>本科目では、診療情報管理業務が拡大するなかで、必要な知識を深め、その対応力を身につける。</p>
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全管理（セーフティマネジメント）               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全概論</li> <li>② 医療におけるリスクマネジメント</li> <li>③ ヒューマンエラー</li> <li>④ 医療事故と医療過誤、医事紛争</li> </ol> </li> <li>2 医療の質管理               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療の質と保証</li> <li>② チーム医療における診療情報共有</li> <li>③ 医療の質マネジメントシステム</li> <li>④ 医療の質の評価と公表</li> </ol> </li> <li>3 診療情報管理における診療報酬請求データの活用               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療マーケティング</li> <li>② 診療情報管理におけるデータの活用</li> <li>③ 電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ</li> <li>④ 診療情報管理データと医事会計データ</li> </ol> </li> </ol>
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
備 考	

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	保健医療情報学	講義	前期	矢野 泰宏	25	専攻

目的およびねらい	<p>保健医療情報学とは、情報通信技術（ICT）の保健医療分野への利活用するための学問である。</p> <p>ICT進展は、社会を変革しつつある。保健医療分野についても同様であり、この分野へのICTの応用、すなわち保健医療の情報化がもたらした効果は、極めて大きなものがある。今世紀に入り、診療情報の電子化はますます進展し、医療機関内の情報化から地域医療の情報化へ、また、医療のみならず、保健・医療・介護・福祉分野間のICTによる情報的連携が実現しつつある。</p> <p>このような時代の診療情報管理士には、ICTを活用して有効かつ的確に診療情報を管理・二次利用できる能力が必要とされる。本科目では、保健医療情報の情報科学的認識、保健医療の情報化の動向、医療情報システムの実際、医療情報の標準化の動向、診療情報のセキュリティ管理、個人情報保護の方法などを身につける。ICTを活用した的確な診療情報管理がいかに保健医療の質の向上に貢献し得るかを知る。</p>									
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健医療情報学とは               <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報の概念</li> <li>②保健医療情報学とは</li> <li>③保健医療情報学と診療情報管理士</li> </ol> </li> <li>2 医療情報の特徴と種類               <ol style="list-style-type: none"> <li>①医療情報と診療情報</li> <li>②診療情報の種類と特性</li> <li>③診療情報の一次利用と二次利用</li> </ol> </li> <li>3 行政が進める保健医療の情報化政策               <ol style="list-style-type: none"> <li>①保健医療の情報化政策の歴史と関連法令</li> <li>②今後の方向性</li> </ol> </li> <li>4 医療情報システム               <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①医療情報システムとは</li> <li>②病院情報システム概論</li> <li>③部門の業務を支える情報システム</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>④オーダーエントリーシステム</li> <li>⑤電子カルテシステム</li> <li>⑥地域医療情報システム</li> </ol> </td> </tr> </table> </li> <li>5 診療情報の二次利用               <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①データウェアハウス</li> <li>②医療ビッグデータ</li> <li>③治験</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>④次世代医療基盤法の成立</li> <li>⑤診療情報管理士の役割</li> </ol> </td> </tr> </table> </li> <li>6 個人が管理する保健医療記録               <ol style="list-style-type: none"> <li>①EHRとPHR</li> <li>②実装の動向</li> </ol> </li> <li>7 医療情報の標準化               <ol style="list-style-type: none"> <li>①標準化の枠組み</li> <li>②医療情報の伝達・交換のための標準化</li> <li>③医療情報分野における用語・コードの標準化</li> <li>④ICD10対応標準病名マスタ</li> <li>⑤保健医療情報分野の標準規格</li> </ol> </li> <li>8 情報セキュリティ               <ol style="list-style-type: none"> <li>①診療情報の安全管理</li> <li>②医療情報システムにおけるセキュリティ対策</li> <li>③医療情報システムの安全管理に関するガイドライン</li> <li>④医療情報システムの安全管理</li> <li>⑤診療情報管理士として実践すべき事項</li> </ol> </li> <li>9 保健医療の情報化のこれから</li> </ol>						<ol style="list-style-type: none"> <li>①医療情報システムとは</li> <li>②病院情報システム概論</li> <li>③部門の業務を支える情報システム</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④オーダーエントリーシステム</li> <li>⑤電子カルテシステム</li> <li>⑥地域医療情報システム</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①データウェアハウス</li> <li>②医療ビッグデータ</li> <li>③治験</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④次世代医療基盤法の成立</li> <li>⑤診療情報管理士の役割</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>①医療情報システムとは</li> <li>②病院情報システム概論</li> <li>③部門の業務を支える情報システム</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④オーダーエントリーシステム</li> <li>⑤電子カルテシステム</li> <li>⑥地域医療情報システム</li> </ol>									
<ol style="list-style-type: none"> <li>①データウェアハウス</li> <li>②医療ビッグデータ</li> <li>③治験</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④次世代医療基盤法の成立</li> <li>⑤診療情報管理士の役割</li> </ol>									
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ									
評価方法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満									
備考										

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	医療統計 I (統計理論)	講義	前期	佐藤 弥	25	専攻

実務経験のある教員による授業科目	医師としての業務以外に、診療情報管理士として大学病院の経営管理部長を兼任しており、医療現場での実務経験、専門分野での知識をもとに統計理論について講義を行います。
------------------	--

目的およびねらい	医療における意志決定は、診療情報に基づいて行われる。診療情報管理士は、診療記録の管理だけではなく、診療記録に含まれる診療情報を活用し、医療施設、医療職、患者、さらに医療政策を支援し、医療の質向上に寄与することが求められている。そこで、本科目では、診療情報を活用するための基盤として、統計処理の基本知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学ぶ。また、診療情報管理士に求められる診療情報のクオリティマネジメントの考え方を身につける。
----------	--

学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 統計的方法             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 変数の種類</li> </ol> </li> <li>2 データの要約(記述統計学の方法)             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 度数分布表とヒストグラム</li> <li>② 分布の中心を表す代表値</li> <li>③ 分布のばらつきを示す散布度</li> <li>④ 記述統計量の使い分け</li> </ol> </li> <li>3 統計学的推測の基礎             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 母集団と標本の考え方</li> <li>② 母集団の特徴に関する記述</li> <li>③ 正規分布</li> <li>④ 母平均の区間推定</li> </ol> </li> <li>4 統計的仮説検定             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 統計的仮説検定の考え方</li> <li>② 統計的仮説検定の手順</li> </ol> </li> <li>5 仮説検定に伴う2種類の誤り</li> <li>6 よく使う検定手法             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2群の平均値の差の検定</li> <li>① 割合の差の検定</li> </ol> </li> <li>7 2つの量的変数の関係</li> </ol>
---------	--

教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ
---------	--------------------------

評価方法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
------	--

備 考	
-----	--

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	医療統計Ⅱ (病院統計・疾病統計)	講義	前期	佐藤 弥	25	専攻

実務経験のある教員による授業科目	医師としての業務以外に、診療情報管理士として大学病院の経営管理部長を兼任しており、医療現場での実務経験、専門分野での知識をもとに病院統計および疾病統計について講義を行います。
------------------	---

目的およびねらい	本科目では、医療統計Ⅰで学んだ統計理論に続いて、具体的に求められる成果を理解し、診療情報管理士に必要な、病院統計および疾病統計の知識を身につける。情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学ぶほか、単なるテクニカルな面に終わることなく、データを扱う上での研究方法や倫理を理解する。
----------	--

学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 データのグラフ表現             <ol style="list-style-type: none"> <li>① データの視覚化</li> <li>② 各種のグラフとその用途</li> </ol> </li> <li>2 病院の統計資料             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 病院統計作成とその意義</li> <li>② 主な統計調査と評価指標</li> <li>③ 主な医療評価指標</li> <li>④ 経営管理指標</li> </ol> </li> <li>3 臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針             <ol style="list-style-type: none"> <li>① コホート研究とケースコントロール（症例対照）研究</li> <li>② 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針</li> </ol> </li> </ol>
---------	---

教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ
---------	--------------------------

評価方法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
------	--

備 考	
-----	--

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	診療情報管理 I (法令・諸規則)	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	<p>診療情報管理を実施するための基盤として、診療情報の重要性を理解し、診療情報を適切に取り扱い、責任ある診療情報管理を行う能力を身につける。</p> <p>本科目では、診療情報管理の意義と役割について系統的に学習するとともに、診療情報管理に関わる法令や諸規則を含め、診療情報の記録方法が機能的にどのような構成やルールをとっているか理解する。</p>					
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療情報管理の意義と役割               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 用語の定義</li> <li>② 診療記録の価値</li> <li>③ 診療情報管理の役割</li> </ol> </li> <li>2 診療情報管理の歴史               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療記録のルーツ</li> <li>② 諸外国における診療情報管理</li> <li>③ わが国における診療情報管理</li> </ol> </li> <li>3 診療情報管理と法規等               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療記録の記載と保存についての法規</li> <li>② 診療記録の電子化に関する法規</li> <li>③ 診療記録の提示に関する法規</li> <li>④ 医療事故にともなう法的責任</li> <li>⑤ 診療情報の守秘に関する法規</li> <li>⑥ 個人情報保護に関する法律</li> <li>⑦ 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス</li> <li>⑧ 個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応</li> <li>⑨ 診療情報の提供等に関する指針</li> </ol> </li> <li>4 診療記録の記載方式               <ol style="list-style-type: none"> <li>① POS</li> <li>② フォーカスチャータリング</li> <li>③ クリニカル・パス</li> </ol> </li> <li>5 関連法規               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療記録の記載方法</li> <li>② 診療録の基本的な記載事項</li> <li>③ 診療記録の種類</li> </ol> </li> </ol>					
教科書・参考書	<p>日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ            診療情報管理士業務指針（日本診療情報管理学会）</p>					
評 価 方 法	<p>筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>					
備 考						



# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	診療情報管理Ⅱ (診療情報管理士の実務)	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	診療情報管理士の専門性について理解する。医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基盤を身につける。診療情報管理を実践する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を修得する
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療情報管理士について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療情報管理士とは何か</li> <li>② 診療情報管理士の業務指針</li> </ol> </li> <li>2 診療情報管理士に求められる資質               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 知識と技能</li> <li>② 視点</li> </ol> </li> <li>3 診療情報管理士の基本業務               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 診療情報を体系的・一元的に管理する業務</li> <li>② 診療情報を安全に管理する業務</li> <li>③ 診療情報を点検する業務</li> <li>④ 診療情報を有効に活用する業務</li> <li>⑤ 診療情報を提供する業務</li> <li>⑥ 統計業務</li> </ol> </li> <li>4 個人情報保護の視点からの保管管理</li> <li>5 紙カルテ運用における診療情報管理               <ol style="list-style-type: none"> <li>① ナンバリング(番号法)</li> <li>② ファイリング(保管法)</li> <li>③ 診療記録の保存期間と保存方法</li> <li>④ パージング(インアクティブファイルへの移行)</li> <li>⑤ 紙カルテの管理方式</li> <li>⑥ 紙カルテの貸出管理</li> <li>⑦ 紙カルテの回収</li> <li>⑧ 紙カルテの記録内容の点検</li> </ol> </li> <li>6 電子カルテ運用における診療情報管理               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 電子カルテの運用</li> <li>② 電子カルテに記載する場所の明確化</li> <li>③ 紙媒体に作成された情報の保存</li> <li>④ 診療情報の点検</li> <li>⑤ 個人情報保護への対応</li> </ol> </li> </ol>
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ
評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
備 考	

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	診療情報管理Ⅲ (DPC・医師事務作業補助者・ がん登録の実務)	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	診療情報管理士が実務として関わる事が非常に多い、DPC業務や医師事務作業補助者業務、がん登録業務等について、実際に実務上求められることを踏まえて、必要とされる知識・技能を修得する。					
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 診療情報管理士について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① DPC制度と実務</li> <li>② DPCと診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わり</li> <li>③ 影響調査(基礎調査)と診療情報管理士</li> <li>④ 病院指標の公開と診療情報管理士</li> <li>⑤ データ精度と診療情報管理士</li> <li>⑥ DPCデータの活用</li> </ol> </li> <li>2 医師事務作業補助者業務について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医師事務作業補助者の業務と体制</li> <li>② 医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わり</li> </ol> </li> <li>3 がん登録の実務について               <ol style="list-style-type: none"> <li>① わが国のがん対策とがん登録</li> <li>② がん登録</li> </ol> </li> <li>4 レセプト情報・特定健診等情報データベース(NDB)について</li> </ol>					
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ					
評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満					
備 考						

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	国際統計分類 I	講義	前期	遠藤智加子	25	専攻

目的およびねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 わが国の人口動態統計のしくみと意義を理解する。</li> <li>2 人口動態統計に用いられる国際疾病分類（ICD）についての理解を深め、その歴史と現在の状況を理解する。</li> <li>3 国際統計分類群（ファミリー）に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解する。</li> <li>4 わが国に導入されているDPC/PDPS制度におけるICDの利用について理解する。</li> </ol>
学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国際疾病分類論               <ol style="list-style-type: none"> <li>① わが国の人口動態統計</li> <li>② 国際疾病分類（ICD）の歴史</li> <li>③ 国際疾病分類（ICD）の現状</li> <li>④ 国際疾病分類（ICD）の構造</li> </ol> </li> <li>2 国際統計分類ファミリー論               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 国際統計分類ファミリー（WHO-FIC）の概念と構想</li> <li>② 国際統計分類ファミリーに含まれる分類</li> </ol> </li> <li>3 国際疾病分類の利用               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 原死因選択ルール</li> <li>② 主要病態のコーディングと再選択ルール</li> <li>③ 診断群分類（DPC）における国際疾病分類（ICD）の利用</li> <li>④ ICDを用いるうえでの注意点</li> </ol> </li> </ol>
教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理IV
評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
備 考	

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	国際統計分類Ⅱ	演習	通年	佐藤 弥	180	専攻

実務経験のある教員による授業科目	医師としての業務以外に、診療情報管理士として大学病院の経営管理部長を兼任しており、医療現場での実務経験、専門分野での知識をもとにICD-10のルールや診療記録からのコーディングについて指導します。
------------------	--

目的およびねらい	人体構造・機能論、臨床医学総論・各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。また、退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を修得する。
----------	--

学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解</li> <li>2 分類コードの実際             <ol style="list-style-type: none"> <li>①退院時要約や死亡診断書などによる総合学習</li> </ol> </li> </ol>
---------	---

教科書・参考書	日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ ICD-10 (2013年版) 第1巻 (内容例示表) ICD-10 (2013年版) 第3巻 (索引表) ICD-O 第3版
---------	---

評 価 方 法	筆記試験・出席状況を総合して評価する。60点以上が合格。 優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満
---------	--

備 考	
-----	--

# 平成31年度 Syllabus

専門学校甲府医療秘書学院

教 科	科 目 名	形態	開講学期	担 当 教 員	時間数	履修年次
診療情報管理士	病院実習	実習	後期	医療機関（病院）	192	専攻

実務経験のある教員による授業科目	この科目は、学校外でのインターンシップを授業の中心に位置づけ、座学の内容と就業体験を統合し、生徒にさらなる学習と就業への方向性をつかんでもらう。また実習を通じて、生徒に職業適性や将来設計について主体的に考えさせる。
------------------	---

目的およびねらい	<p>病院の基本的機能の理解、入院および外来診療録の具体的管理状況の理解、診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解、疾病統計・サマリー等がどのようなものを具体的に理解する。</p> <p>診療録の量的・質的点検の方法および編綴の実習、記録の収納、検索、貸出業務を実習する。傷病名、手術・処置等のコーディングの補助業務を実習する。</p> <p>さらに実務で求められると考えられるDPC業務、がん登録業務、医師事務作業補助業務を実習する。</p>
----------	---

学 習 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病院の基本的機能</li> <li>2 診療記録の管理</li> <li>3 診療情報管理部門の機能</li> <li>4 統計業務の理解</li> <li>5 ICDコーディング</li> <li>6 DPCコーディング</li> <li>7 がん登録</li> <li>8 医師事務作業補助業務</li> </ol>
---------	---

教科書・参考書	<p>日本病院会診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ          ICD-10（2013年版） 第1巻（内容例示表）          ICD-10（2013年版） 第3巻（索引表）          ICD-O 第3版</p>
---------	--

評価方法	<p>出席状況・提出物・実習先評価を総合して評価する。60点以上が合格。</p> <p>優：100～80、良：79～70、可：69～60、不可：60未満</p>
------	--

備 考	
-----	--